

## ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する  
協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および  
文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる  
社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、  
そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、  
運動と事業の発展に努めます。

ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、  
健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

## ■ ろうきんの基本姿勢

### 目的

#### ろうきんは、働く仲間がつくった福祉金融機関です

ろうきんは、労働組合や生活協同組合などの働く仲間が、お互いを助け合うために資金を出し合っ  
てつくった協同組織の金融機関です。

ろうきんは働く人たちの暮らしを支え、快適で過ごしやすい社会づくりに寄与することを目的として  
います。

### 運営

#### ろうきんは、非営利・公平・民主的な運営の金融機関です

ろうきんは、労働金庫法という法律に基づいて、営利を目的とせず、公平・民主的に運営されています。  
ろうきん独自の運営に共感する人たちの輪が、働く人の団体・市民の参加を得て、全国で1,000万人  
の人たちに広がっています。

### 事業

#### ろうきんは、生活者本位の金融機関です

ろうきんの業務内容は、預金・融資・各種サービスなど、一般の金融機関とほとんど変わりません。  
しかし、ろうきんでは資金の運用が、生活者本位に行われているのが特長です。

働く人たちからお預かりした資金は、住宅・結婚・教育資金など、働く人たちの生活を守り、より豊かに  
するために役立てられています。

## ■ 中央ろうきんと全国ろうきんの状況

ろうきんは、働く人とその家族の方たちの暮らしを第一に考える金融機関として、全国で1,000万人の人たちのご支持をいただいています。

[中央ろうきん・全国ろうきんの概要]

(2007年3月末)

項目	中央ろうきん	全国ろうきん
総預金残高	4兆2,856億円	14兆7,815億円
貸出金残高	2兆9,861億円	10兆 526億円
出資金	293億円	904億円
団体会員数	15,257会員	63,021会員
間接構成員数	3,313,445人	9,884,355人
常勤役員数	2,509人	10,622人
店舗数	146店舗	683店舗

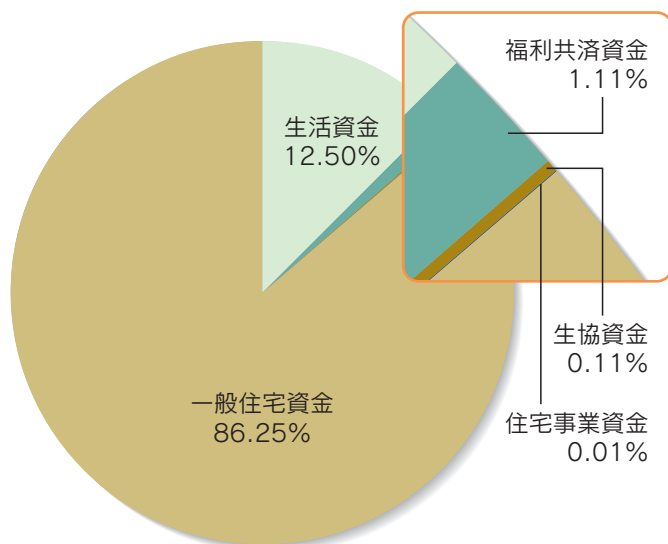
\*労働金庫は全国で13金庫(683店舗)のネットワークを形成しています。(2007年3月末現在)

## ■ 融資にみるろうきんの特長

〈中央ろうきん〉の融資は、約98%が個人の方への融資です。

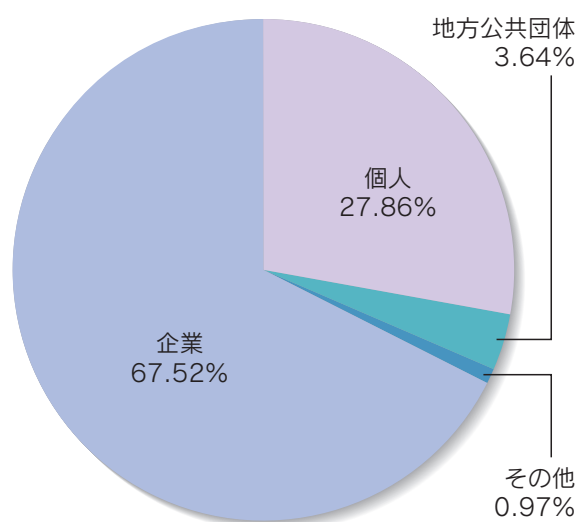
[中央ろうきんの融資使途別割合]

(2007年3月末現在)

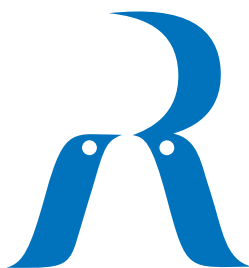


[銀行融資の融資先別割合]

(2007年3月末/日銀ホームページ資料より算出)



## ろうきんのシンボルマーク



シンボルマークは、欧文の〈ROKIN〉の頭文字のRをデザインしたもので、同時に鳥の親子を表しています。鳥の親子は、愛とやさしさ、親から子へと引き継がれる労金運動を意味し、ろうきんの親近性を強調するとともに、はばたく鳥は、より発展するろうきんの飛翔を表現しています。また、欧文の頭文字をデザインすることにより、ろうきんの近代性を強調しています。

シンボルマークのカラーはブルーです。ブルーは、心理上「知性」「未来」「希望」を連想させるカラーで、ろうきんが目指す近代的なイメージを表現しています。シンボルマークにはろうきんの理念が表現されており、ビジュアル・アイデンティティーの基本として、すべての視覚媒体に使用されています。